

令和6年度大分教育事務所重点方針

令和6年度大分教育事務所 重点方針

深い子ども理解

アセスメント
ファシリテーション

子どもの力と意欲の 向上に向けた 組織的取組の推進

授業改善の徹底

- ◇ 「教師主体の授業」から「子ども主体の授業」への転換
- ◇ 授業構想力・授業展開力の向上及び授業評価を基にした基礎・基本の確実な定着

いじめ・不登校 対策等の推進

- ◇ 学校における組織的な取組の充実
- ◇ 学ぶ機会の確保

特別支援 教育の充実

- ◇ 通常の学級における個別の指導計画の活用
- ◇ 個別の指導計画推進教員等との連携

学校マネジメントの深化

- ◇ 「育成を目指す資質・能力」を育む取組の明確化と検証・改善の推進
- ◇ 学校・家庭・地域の役割分担の明確化
- ◇ 人材育成・働き方改革の推進

学校マネジメントの深化

- ◇ 「育成を目指す資質・能力」を育む取組の明確化と検証・改善の推進
 - ・ 「育成を目指す資質・能力」の共通理解をもとに検証・改善を進め、教育課程の見直しにつなげましょう。
- ◇ 学校・家庭・地域の役割分担の明確化
 - ・ 学校・家庭・地域が、教育の担い手としての当事者意識をもって熟議し、適切かつ明確な役割分担のもと、地域のよさや創意工夫を生かした特色ある学校づくりを進めましょう。
- ◇ 人材育成・働き方改革の推進
 - ・ 組織体制の見直しや効果的な校内研修等を通して、学び合える職場を目指しましょう。
 - ・ 業務の精選・見直しやICTの積極的な活用を進め、働きやすい職場を目指しましょう。

授業改善の徹底

- ◇ 「教師主体の授業」から「子ども主体の授業」への転換
 - ・ 子どもが見通しをもって、粘り強く取り組む力が身に付く授業を目指しましょう。
 - ・ 子どもが周りの人たちと共に考え、学び、「わかった!」「おもしろい!」と思える授業を目指しましょう。
- ◇ 授業構想力・授業展開力・授業を評価し、改善していく力
 - ・ 単元を通して付けたい力を明確にし、それらを身に付けさせるために適切な指導と評価の計画を構想しましょう。
 - ・ 既習事項とのズレ、疑問や困りなどを基に「課題」を設定し、その「課題」を追究していく過程を重視した授業を行いましょう。
 - ・ 授業では、本時の「ねらい」と「評価規準」との整合性を図るとともに、「C努力を要する状況」にある子どもには、「Bおおむね満足できる状況」に引き上げるための手立てを講じましょう。
 - ・ 単元や授業の「振り返り」は、単にできた・できなかったに留まるのではなく、既習事項や経験と関連付けたり、今後の学びへとつなげたりするなど、視点を明確にした「振り返り」の充実を図りましょう。
 - ・ 「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実に向け、ICT（1人1台端末）を効果的に活用しましょう。

いじめ・不登校対策の推進

- ◇ 学校における組織的な取組の充実
 - ・ 子どもたちのどんな些細なサインや変化も見逃さず、「人間関係づくりプログラム」の取組やいじめ・不登校に係る校内委員会の充実を図りましょう。
- ◇ 学ぶ機会の確保
 - ・ 遠隔・オンライン形式での授業参加やA1ドリル等による家庭学習等での1人1台端末の活用もきめ、不登校の子どもたちの学ぶ機会を確保しましょう。

特別支援教育の充実

- ◇ 通常の学級における個別の指導計画の活用
 - ・ 子ども一人ひとりの困りに寄り添い、適切な指導や支援を行うためのツールとして個別の指導計画を活用しましょう。
 - ・ 個別の指導計画をもとに、目標や指導内容・指導方法等について情報共有しながら見直し、校内での組織的な支援につなげていきましょう。
- ◇ 個別の指導計画推進教員等との連携
 - ・ 個別の指導計画推進教員等との連携や巡回指導等の活用を通して、指導や支援の充実を図りましょう。